

# 「不易」と「流行」 誠実・克己・忠恕

～県伊祭の準備が始まりました！ところでアイデアを降臨させる方法ってあるの？～  
世界でまったく初めてのアイデアなどほとんどないそうです。  
なぜなら、ほとんどのアイデアは、組み合わせでできているからです。  
では、アイデアを降臨させる方法って・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**あります！**

アイデアとは考えて思い浮かぶものではない。

天から降ってくるものである。

天から降ってきたアイデアを、満員電車の中であろうと、午前3時であろうと、デート中であろうと、1秒後にメモれる人。

そういう人が、世に言うアイデアマンになれる。アイデアマンじゃない人は、思い浮かんだアイデアを単にメモらなかっただけ。

どんなに素晴らしいアイデアでも、時間が経てば忘れられる。

世の偉人たちで、メモ魔だった人は多い。

かのレオナルドダヴィンチは生涯で5千ページを超えるメモを書き残したというし、エジソンもアインシュタインも常にメモ帖を持ち歩いて、何かアイデアが浮かぶとすぐに書き留めたという。エジソンは1%のひらめきを忘れないよう、常にメモっていたのだ。

アイデアはある日突然ノックする。じゃあ、僕らはただ指をくわえて、アイデアの降臨を待つしかないのか？

いや、そんなことはない。雨乞いじゃないけど、**アイデアを降臨しやすくする方法はある。**

それは、知識のストックを増やし、その組み合わせのパターンを増やすこと。

ホイチョイ・プロダクションズの馬場康夫さんは言う。

**「アイデアを降臨させるために一番確実な方法は、面白い演劇を見たり、話題のレストランに行ったり、新進気鋭の研究者の話の聞いたり、とにかく多種多様な体験を積むこと。そうやって知識の量が増えれば増えるほど、アイデアが降臨する機会も増える。断言していいけど、何も見聞しないでアイデアがひらめくことは絶対ない。」**

そのアイデアの降臨をしやすくする方法・・・

それが、一見無駄だと思えるようなたくさんの経験を積むこと。とにかく、話題のレストランや行列のできるお店に行き、人気の講演会やベストセラーや映画を聞いたり、見たりする。

**何事も知識や情報の量などの「土台」ができていなければ、アイデアは生まれません。**

『「考え方」の考え方』 指南役 著／大和書房 「リーダーの禅語」 柘野俊明著／三笠書房



かつて、日本の流通業に革命を起こしたダイエーの創業者中内功氏は、並外れたメモ魔で有名でした。マクドナルドの創業者の藤田田氏も、メモを取りまくったそうです。成功者にはメモ魔が多いんですね。夜中にメモしたことは、朝になると、何を書いてあるかさっぱりわからないこともあります。メモの中のたった一言が、大きなアイデアに結びつくことは多くあります。

2・3日前にどこへ行ったか？とか、何を食べたか？を明確に覚えている人は少ないのではないのでしょうか。

**人は何でも、あっという間に忘れてしまいます。**

ましてや、頭に浮かんだアイデアなどはなおさらのことです。

アイデアに限らず授業でもメモを取る習慣を身に付けたいですね。

馬場康夫さんの「**何事も知識や情報の量などの土台ができていなければ、アイデアは生まれません。**」の通りこの県高生活でアイデアの土台を作り上げていきましょう。

**県高手帳……端末……メモを取る環境は整ってますよ！**

